



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

2025年度 第3四半期 決算説明会資料

2026年2月12日
株式会社UACJ



2025年度第3四半期 決算概況

青字: ポジティブ影響
赤字: ネガティブ影響

2025年度第3四半期 業績

- ✓ 缶材需要はグローバルで順調に伸長
- ✓ 米国スクラップ処理能力が拡大し、コスト削減に寄与
- ✓ 日本からの輸出増加および価格改定の効果が発現
- ✓ 為替の変動により収益が減少(パーツ高ドル安)
- ✓ 北米自動車産業の不透明さが急拡大

(億円)	前年同期 実績	実績	差異
販売数量(千t)	945	993	48
売上収益	7,384	8,416	1,032
事業利益*1	418	340	△ 78
最終利益*2	250	249	△ 1
Adjusted EBITDA*3	701	637	△ 64

2025年度 業績予想

- ✓ 第3四半期の事業環境が継続と予想、通期業績予想を上方修正
 - ✓ 事業利益: 480億円(11月公表+20億円)
 - ✓ 最終利益: 270億円(同+40億円)
 - ✓ 年間配当金見通し: 45円/株(同+3円/株)

(億円)	2025/11 公表	最新見通し	差異
販売数量(千t)	1,347	1,334	△ 13
売上収益	11,000	11,400	400
事業利益	460	480	20
最終利益	230	270	40
Adjusted EBITDA	855	880	25
年間配当金(円/株)*4	42	45	3

*1 事業利益: 持続的な事業活動の成果。営業利益から、棚卸資産影響、一時的・特殊な重要性のある損益を控除したもの
*2 最終利益: 親会社の所有者に帰属する当期利益
*3 Adjusted EBITDA: EBITDA - 棚卸資産影響等
*4 当会計年度期首に株式分割が行われたと仮定して算定

- 1. 2025年度 第3四半期業績**
- 2. 2025年度 業績予想**
- 3. 企業価値の向上**
- 4. ご参考**

1. 2025年度 第3四半期業績



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

1. 業績

第3四半期 業績

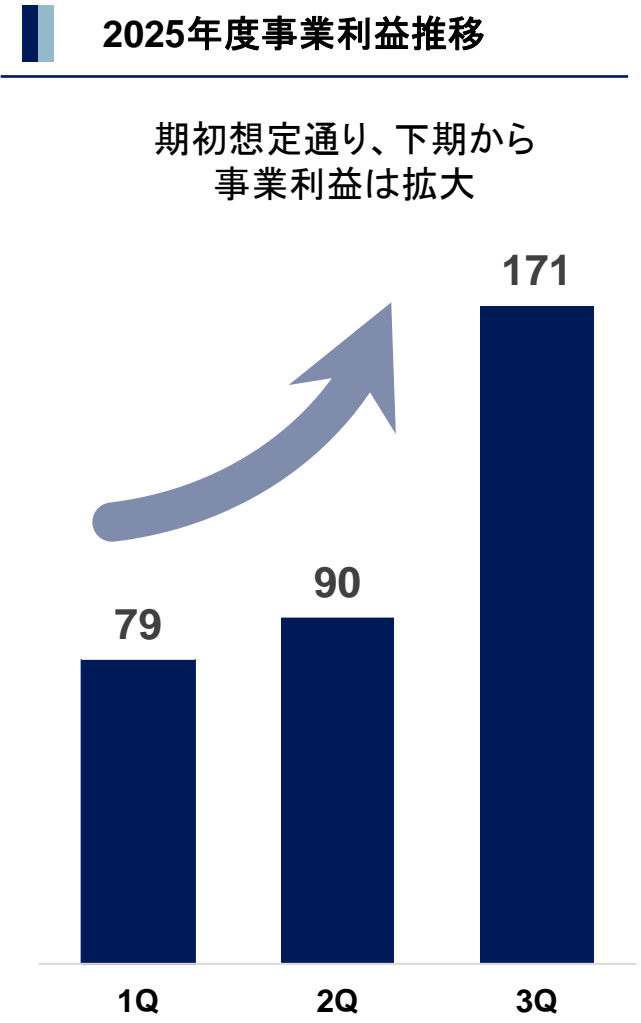
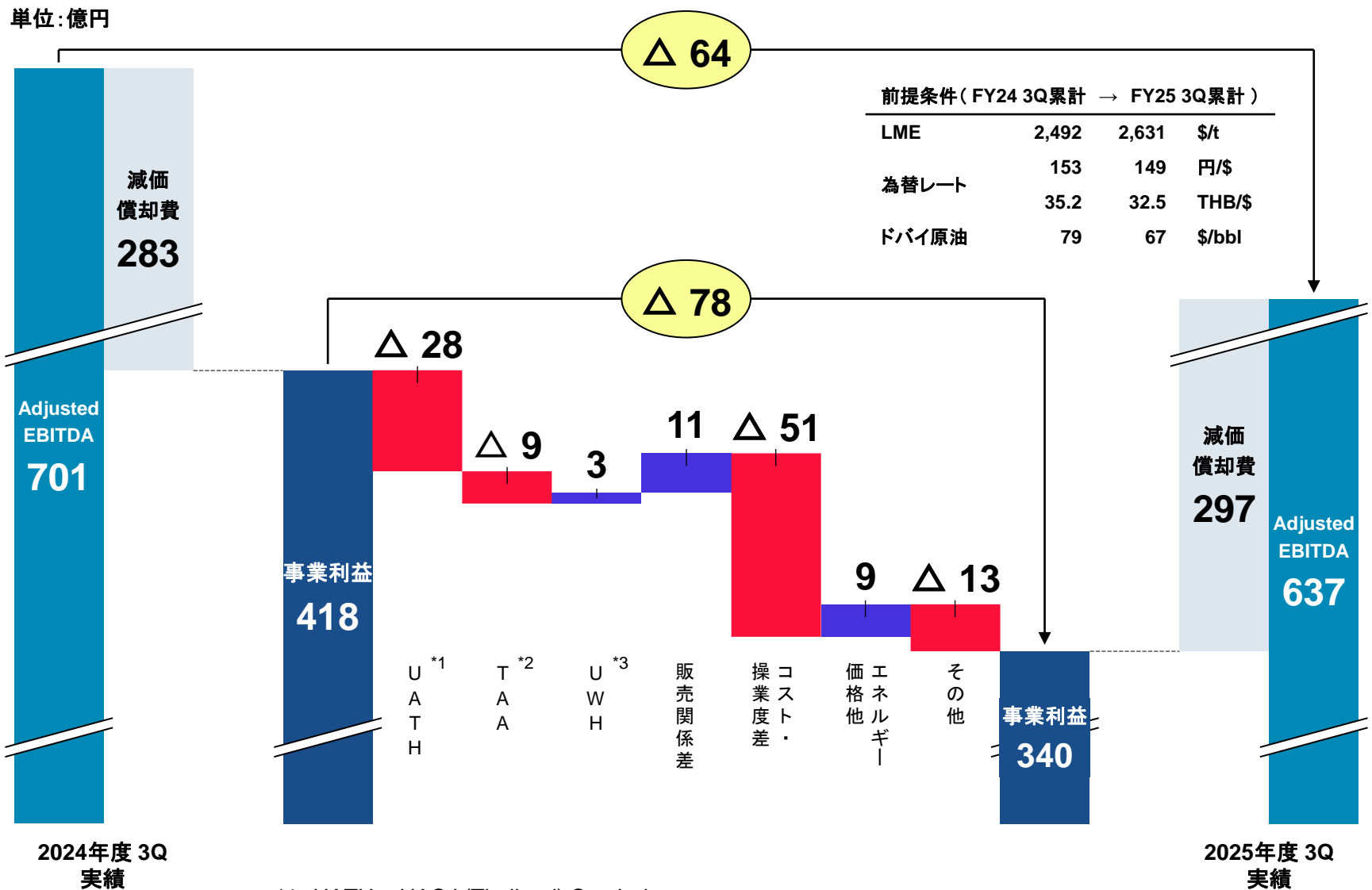
(単位:億円)

	2024年度 3Q累計 (A)	2025年度 3Q累計 (B)	増 減 (B)－(A)
売上収益	7,384	8,416	1,032
事業利益	418	340	△ 78
棚卸資産影響等	75	172	97
営業利益	493	511	18
最終利益	250	249	△ 1
1株あたり当期利益 (円 / 株)*	129	138	9
Adjusted EBITDA	701	637	△ 64
前提条件			
LME (\$/t)	2,492	2,631	139
為替レート(円/\$)	153	149	△ 4
為替レート(THB/\$)	35.2	32.5	△ 2.7
ドバイ原油 (\$/bbl)	79	67	△ 12

* 前会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定

1. 業績

事業利益・Adjusted EBITDA 分析 (2024年度 3Q累計 → 2025年度3Q累計)



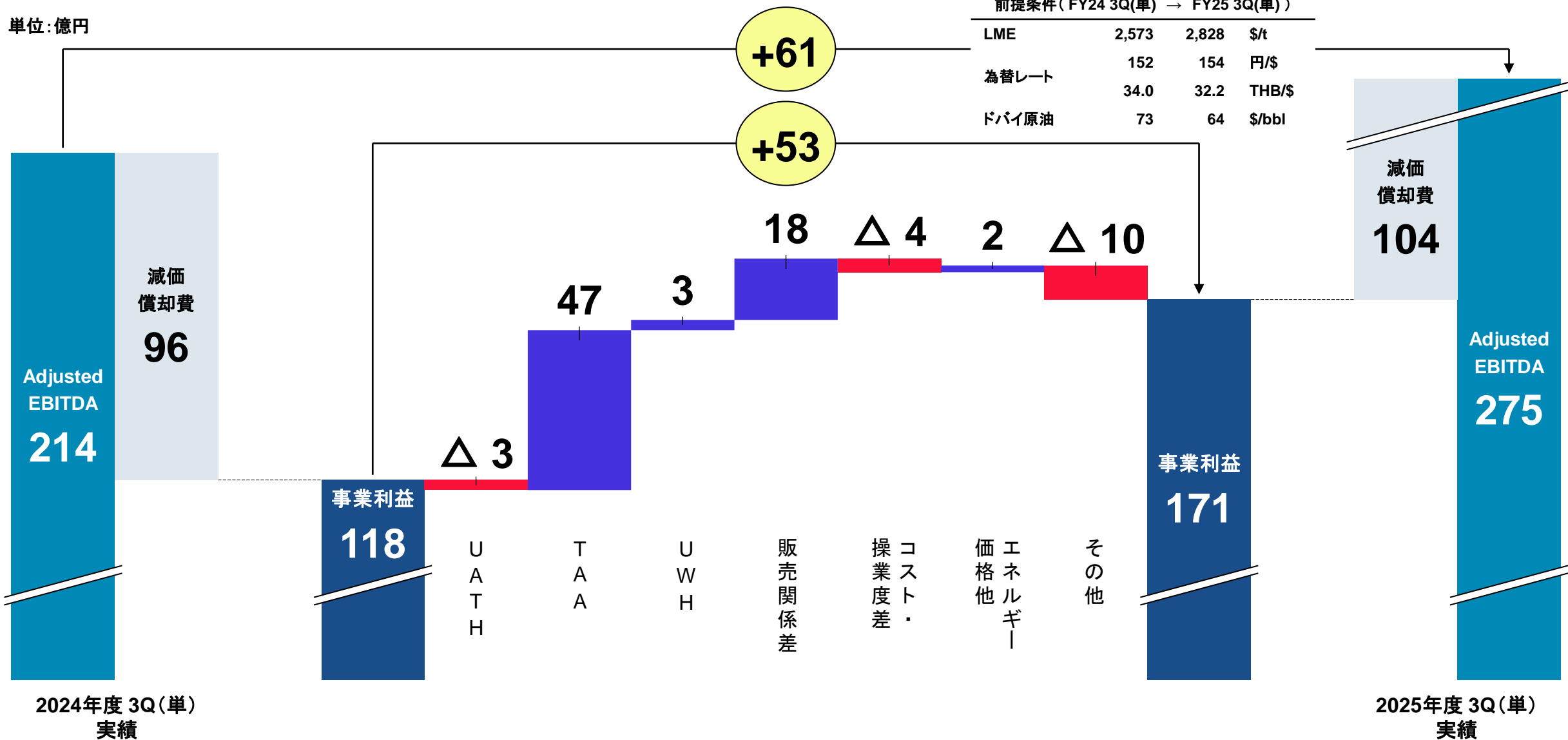
*1 UATH: UACJ (Thailand) Co., Ltd
*2 TAA: Tri-Arrows Aluminum Inc.
*3 UWH: UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc

© UACJ Corporation. All rights reserved.

1. 業績

事業利益・Adjusted EBITDA 分析 (2024年度 3Q単独 → 2025年度3Q単独)

単位: 億円



アルミ板 品種別売上数量

(単位: 千t)

品種	2024年度 3Q累計 (A)	2025年度 3Q累計 (B)	増減 (B)-(A)
缶材*	630	681	51
箔地	32	32	0
IT材	8	11	3
自動車材	102	103	1
厚板	32	27	△ 5
その他一般材	141	139	△ 2
合計	945	993	48
日本市場	372	357	△ 15
海外市場	573	636	63

連結財政状態計算書

	25/3末 (A)	25/12末 (B)	増減額 (B-A)
現金及び現金同等	263	320	57
営業債権及びその他の債権	1,873	2,132	259
棚卸資産	2,441	2,881	440
その他の流動資産	218	380	163
有形固定資産	3,943	4,196	253
その他の非流動資産	961	1,021	60
資産合計	9,700	10,930	1,230
営業債務及びその他の債務	1,406	1,603	197
借入金	3,407	3,821	414
その他	1,691	1,863	172
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,906	3,289	383
非支配持分	290	355	65
負債及び資本合計	9,700	10,930	1,230

アルミ地金等
価格上昇による影響

福井:
UBC加工処理設備増設

深谷:
厚板焼入れ炉増設

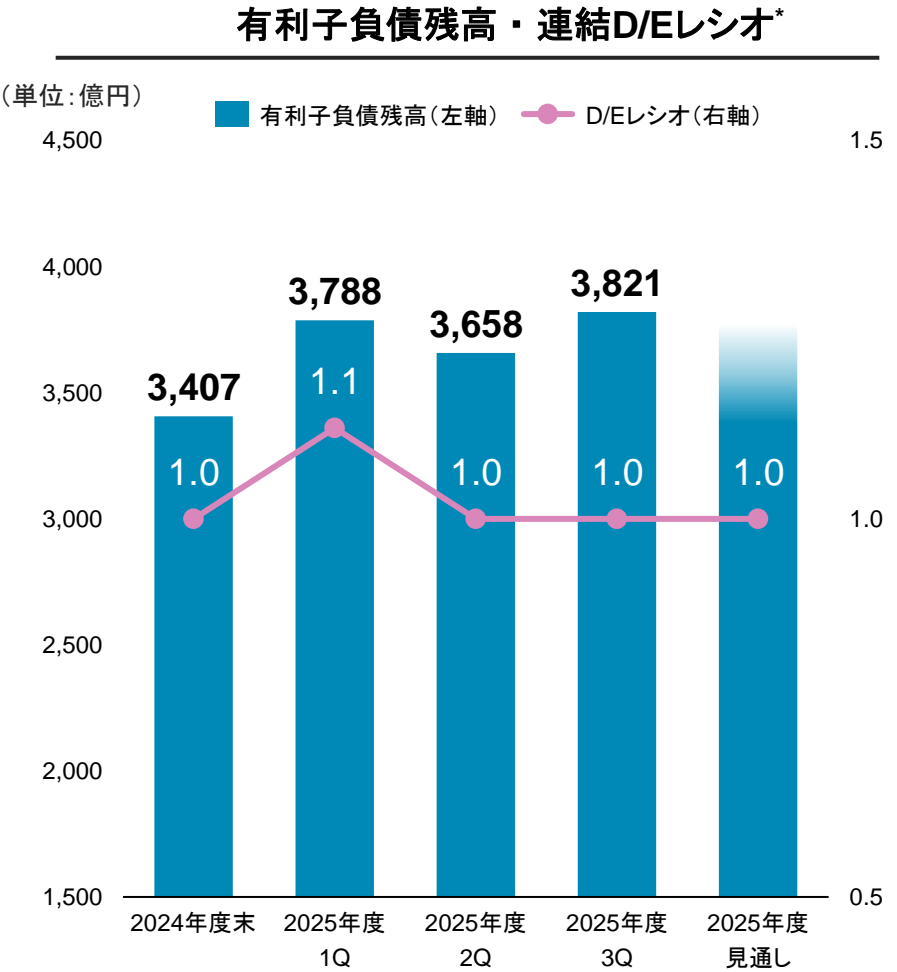
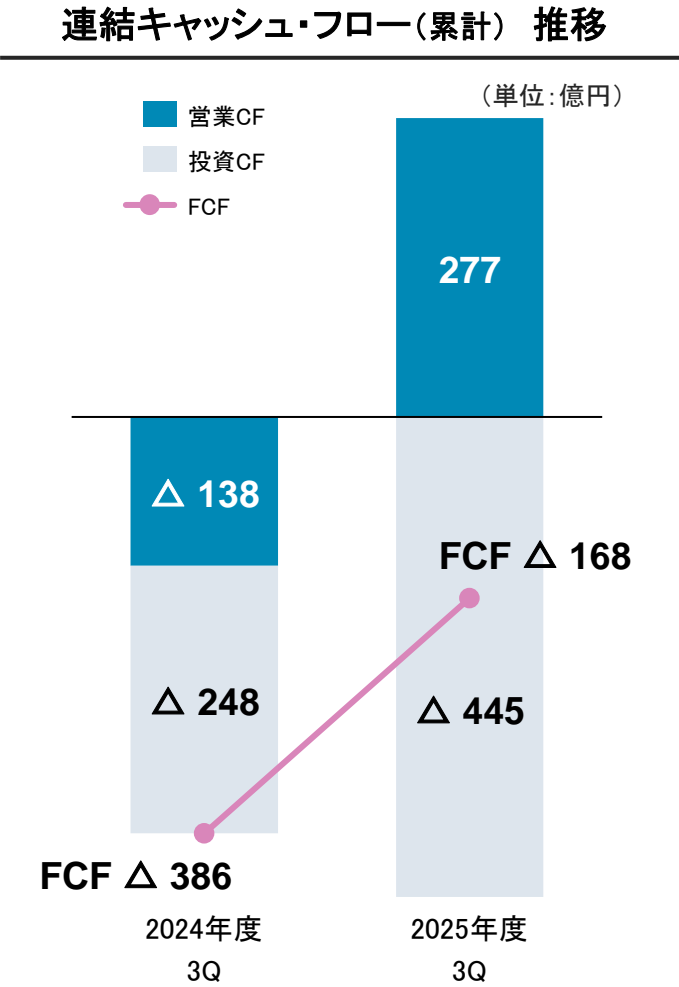
TAA:
スクラップ処理ライン増設

1. 業績

連結キャッシュ・フロー計算書

2025年度末D/Eレシオ 中計目標の1.0倍未満を堅持

連結キャッシュ・フロー(累計)		
	(単位: 億円)	
	2024年度 3Q	2025年度 3Q
税引前利益	400	402
減価償却費	283	297
債権債務増減他	△821	△422
営業キャッシュ・フロー計	△138	277
設備投資 他	△248	△445
フリーキャッシュ・フロー	△386	△168
ファイナンススキーム・配当他	△35	△100
現預金増減(△は増加)	36	△57
外貨建借入金換算差(△は増加)	△77	△89
有利子負債(△は増加)	△461	△414



* 連結D/Eレシオは、有利子負債のうち借入金・社債を基に算出し、また劣後特約付ローンの資本性を考慮

タイ(UATH)の状況

販売は伸長、収益性改善に向けて価格改定へ注力

第3四半期総括

需要 : ・ グローバル缶材の需要は想定通り拡大

販売 : 【北米向け】

・ 北米向けの販売を継続対応

【ASEAN・その他地域】

・ 価格改定を継続

・ 新規取引顧客の拡大推進

損益 : ・ 拡販活動が実り、販売量拡大へ寄与

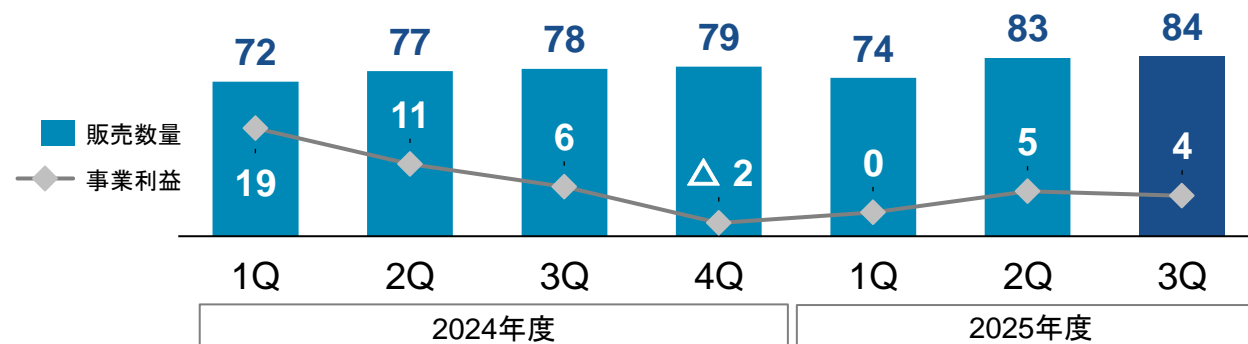
・ リサイクル原料価格や、為替影響により収益圧迫

(単位: 億円)	24年度 3Q累計	25年度 3Q累計	前年同期比
販売数量(千t)*	226	241	15
売上収益	1,468	1,560	92
営業利益	54	23	△ 31
事業利益	36	9	△ 28

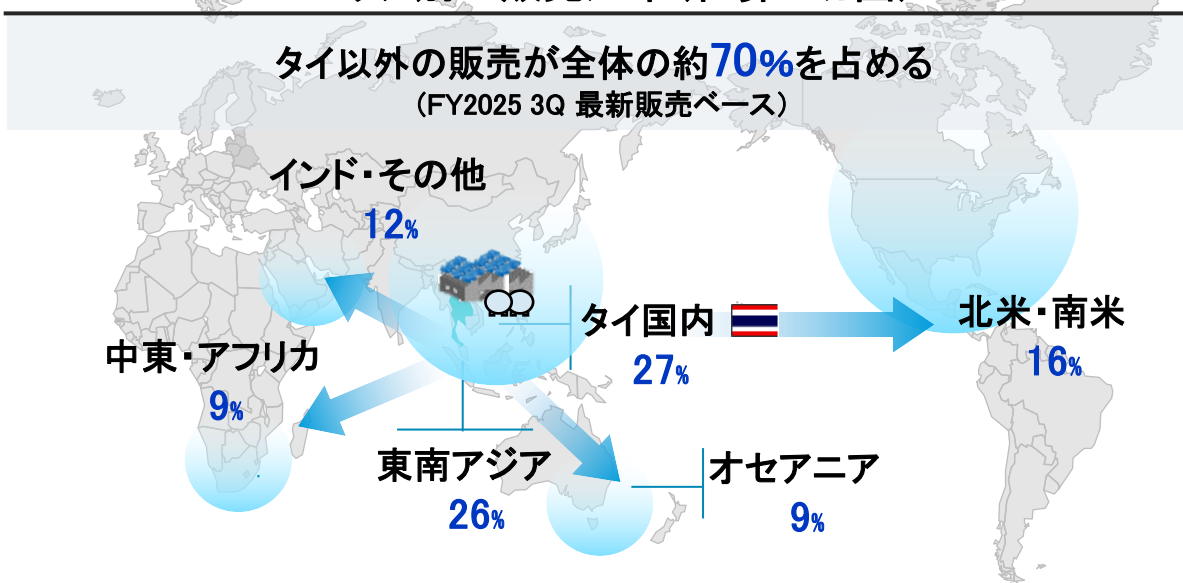
※2024年度からの業績推移はP31をご参照ください。

*TAAへの出荷分含む

販売数量(千t)・事業利益(億円)推移



エリア別の販売比率(世界33カ国)



米国(TAA)の状況

需要は極めて旺盛に推移 高い稼働・販売を維持

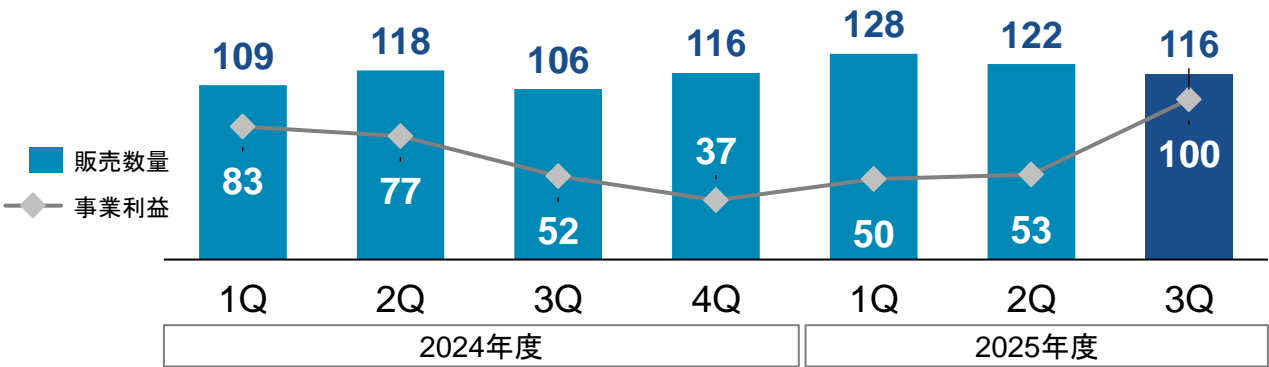
第3四半期総括

- 需要
- :
 - 米国缶材需要は当社想定に沿って拡大(CAGR3%)
- 生産・販売
- :
 - 熱間圧延増強およびシュレッダーライン能力拡大投資が稼働開始し、コスト削減に寄与
 - 顧客との強固な信頼関係をベースに、販売は引き続き高水準で推移
- 損益
- :
 - リサイクル原料の活用メリットが拡大

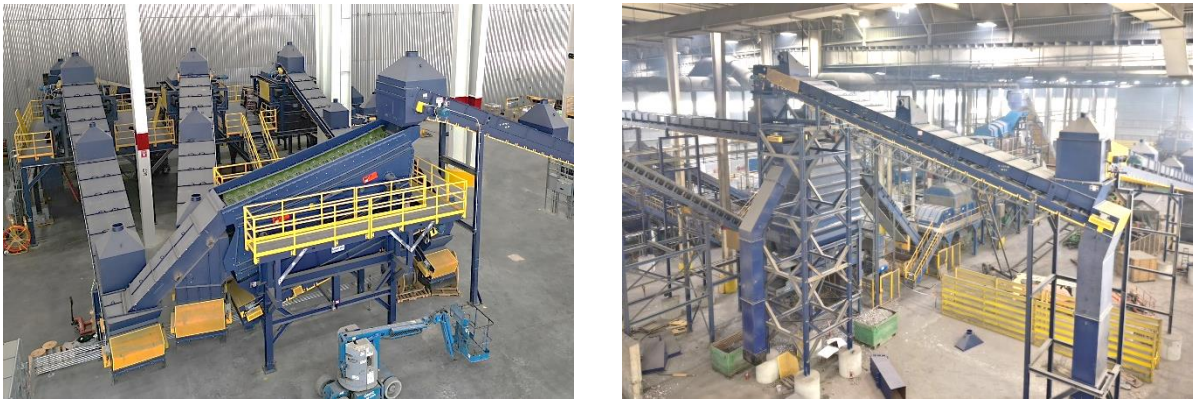
(単位: 億円)	24年度 3Q累計	25年度 3Q累計	前年同期比
販売数量(千t)	333	366	33
売上収益	2,118	2,829	711
営業利益	255	374	119
事業利益	212	203	△ 9

※2024年度からの業績推移はP31をご参照ください。

販売数量(千t)・事業利益(億円)推移



確実な将来に向けた設備投資の展開



シュレッダーライン 本格稼働
(2026年1月)

北米自動車市場の急変、厳しい環境下で収益確保に注力

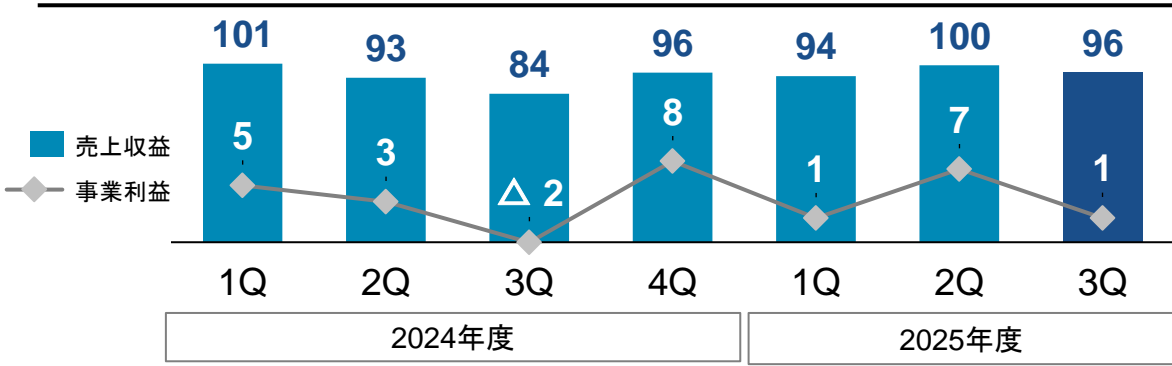
第3四半期総括

- 事業環境
- 損益
- 北米自動車産業の不透明さが急拡大
 - IRA*の税額控除終了による反動減が継続
 - 徹底したコスト削減活動で収益を確保に注力

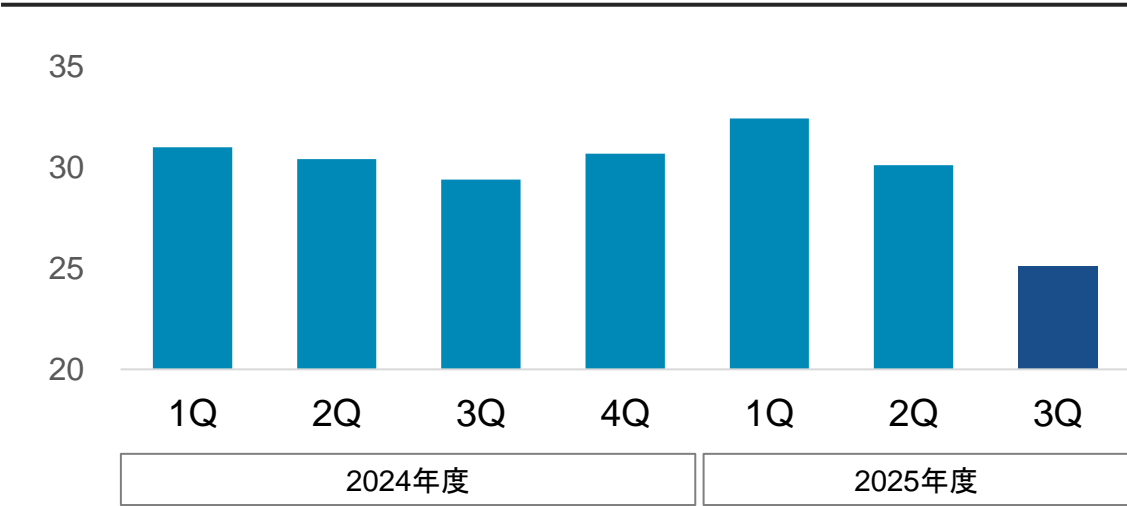
(単位: 億円)	24年度 3Q累計	25年度 3Q累計	前年同期比
売上収益	278	290	12
営業利益	4	7	3
事業利益	6	9	3

※2024年度からの業績推移はP31をご参照ください。

売上収益、事業利益推移(億円)



北米 BEV生産台数推移(万台)



2. 2025年度 業績予想

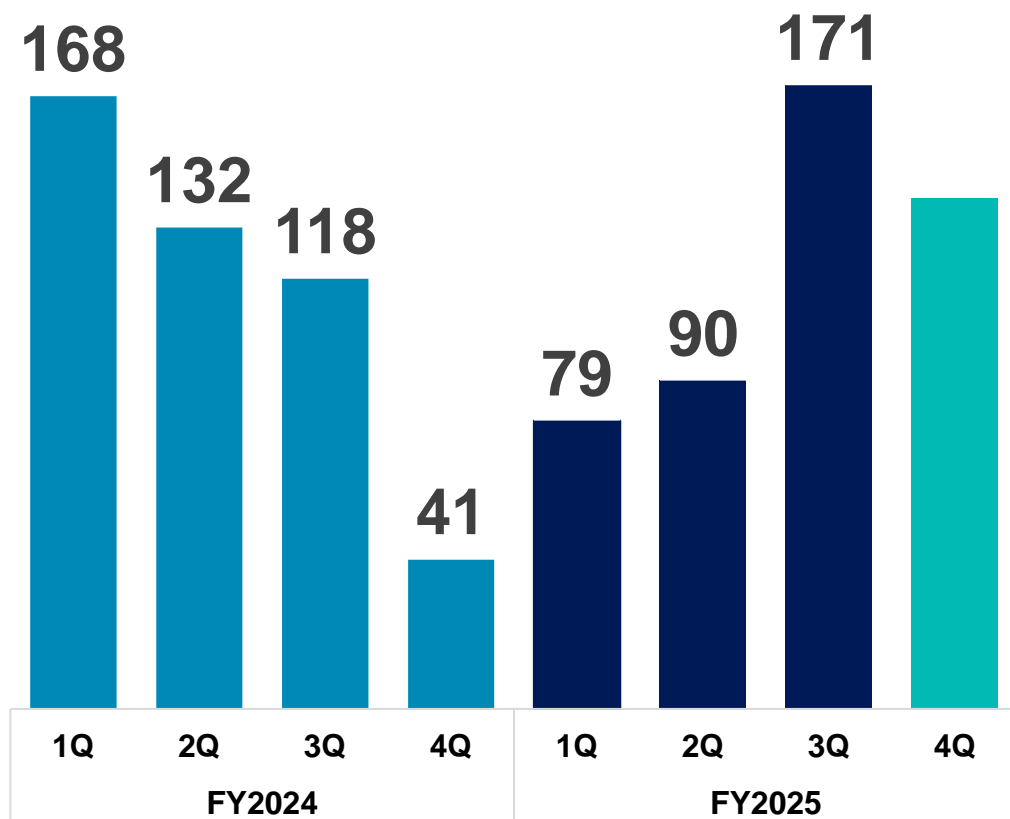


Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

2025年度 事業利益見通し

直近の販売動向を踏まえ、通期事業利益見通しを480億円へ上方修正

四半期事業利益推移(億円)



事業環境

青字: ポジティブ影響
赤字: ネガティブ影響

- ✓ 缶材需要はグローバルで高水準を維持
- ✓ 米国**関税政策の影響**が継続すると想定
- ✓ 半導体製造装置向けの厚板に回復の兆し
- ✓ 押出・加工品の**需要減少**
- ✓ **為替変動**の影響を注視(パーツ高ドル安)

第4四半期以降の施策

- ✓ 需要を捉えた高品質な製品の生産、販売の継続
- ✓ 諸コスト上昇に伴う**価格改定施策**を継続
- ✓ 米国内サプライチェーンの混乱を緩和するため、**日本・タイから出荷**
- ✓ **航空宇宙・防衛材事業**の活動の強化
- ✓ 押出・加工の高付加価値品の拡販活動

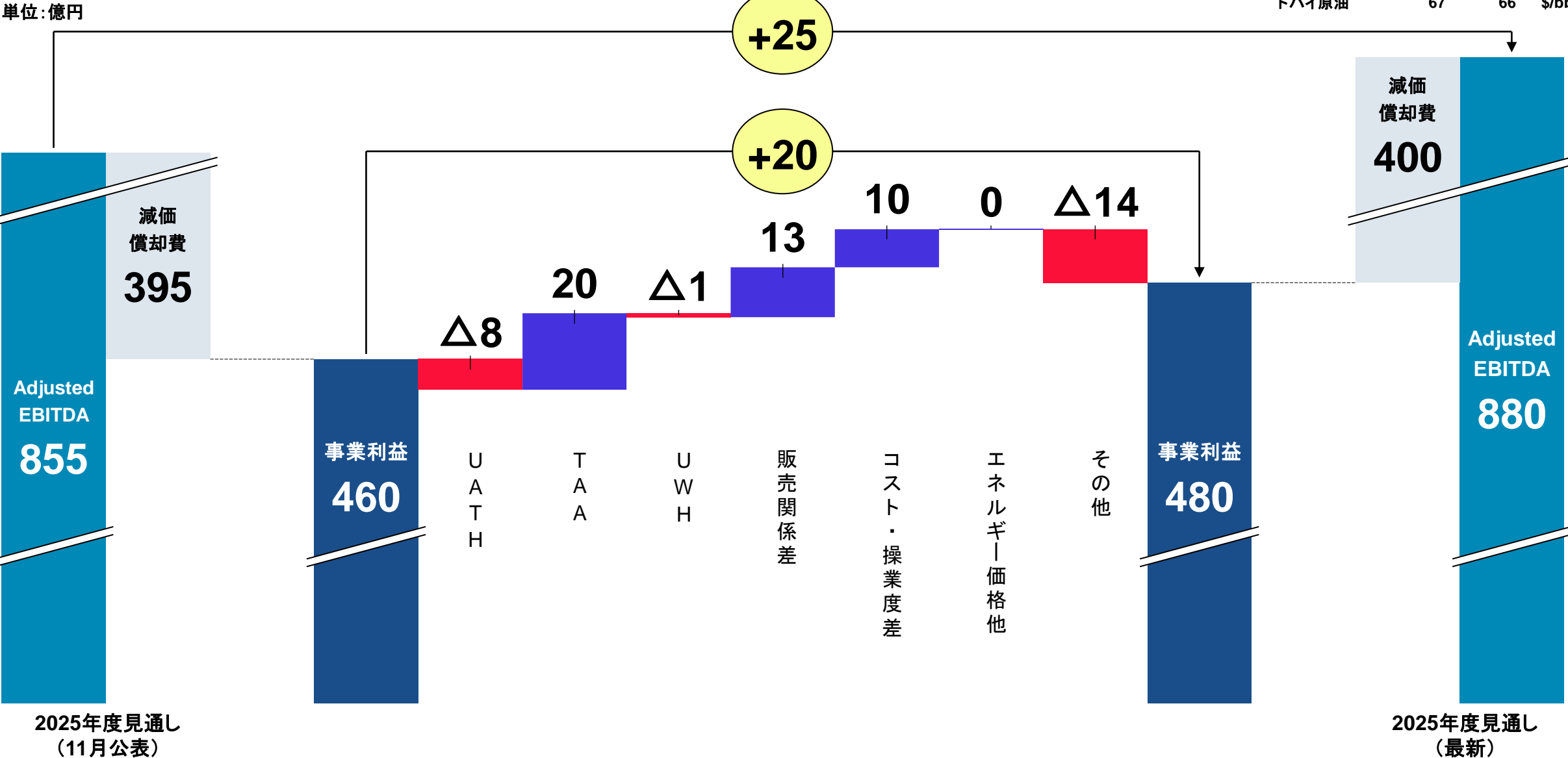
2025年度 通期業績見通し

(単位: 億円)		2025年度 最新見通し(A)	2025年度見通し 11月時点(B)	増減 (A)-(B)	2024年度 実績(C)	増減 (A)-(C)
売上収益		11,400	11,000	400	9,988	1,412
事業利益		480	460	20	459	21
棚卸資産影響等		180	90	90	115	65
営業利益		660	550	110	574	86
親会社の所有者に帰属する当期利益		270	230	40	280	△ 10
1株あたり当期純利益(円/株)*		149.1	127.0	22.1	146.5	2.6
Adjusted EBITDA		880	855	25	840	40
年間配当 *		45.0円/株	42.0円/株	3.0円/株	37.5円/株	7.5円/株
前提 条件	LME(\$/t)	2,748	2,666	82	2,526	222
	為替レート(円/\$)	150	148	2	153	△ 3
	為替レート(THB/\$)	32.2	32.6	△ 0.4	34.9	△ 2.7
	ドバイ原油(\$/B)	66	67	△ 1	78	△ 12

* 前会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定

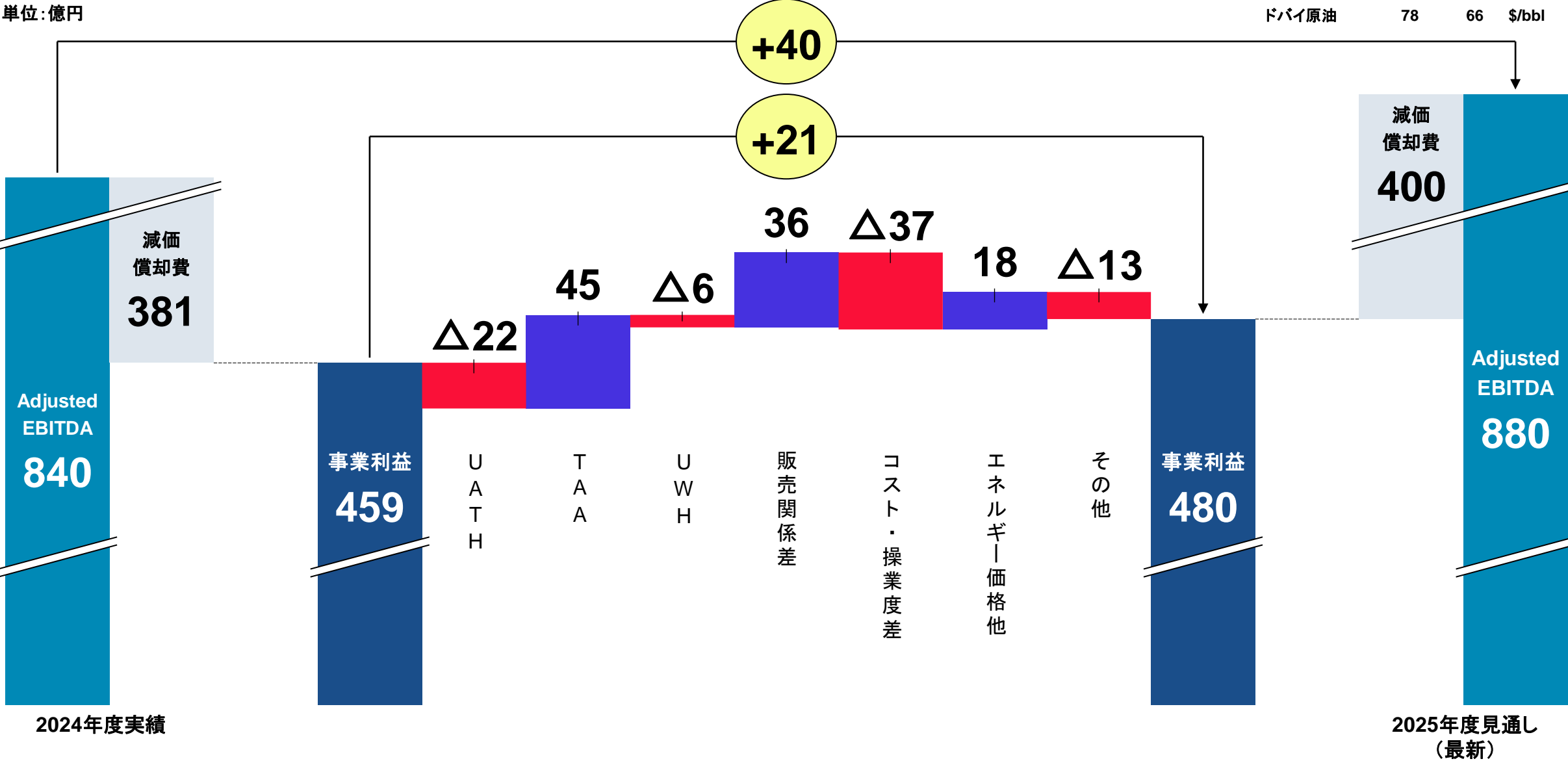
事業利益分析（2025年11月公表 → 2025年度最新見通し）

通期前提条件(2025年11月 → FY25(最新))			
LME	2,666	2,748	\$/t
為替レート	148	150	円/\$
	32.6	32.2	THB/\$
ドバイ原油	67	66	\$/bbl



事業利益分析（2024年度 → 2025年度最新見通し）

通期前提条件 (FY24 → FY25(最新))			
LME	2,526	2,748	\$/t
為替レート	153	150	円/\$
	34.9	32.2	THB/\$
ドバイ原油	78	66	\$/bbl



アルミ板 品種別売上数量

(単位:千トン)

品種	2025年度 最新見通し(A)	2025年度 11月時点(B)	増減 (A)-(B)	2024年度 実績(C)	増減 (A)-(C)
缶材*	915	927	△ 12	851	64
箔地	41	41	0	42	△ 1
IT材	15	15	0	10	5
自動車材	139	137	2	134	5
厚板	39	38	1	42	△ 3
その他一般材	185	188	△ 3	187	△ 2
合計	1,334	1,347	△ 13	1,266	68
国内市場向け	477	479	△ 2	489	△ 12
海外市場向け	857	868	△ 11	777	80

* 内部取引控除後の数量

株主還元方針

11月公表から+3円/株増額し、45円/株に上方修正

第4次中期経営計画期間 還元方針

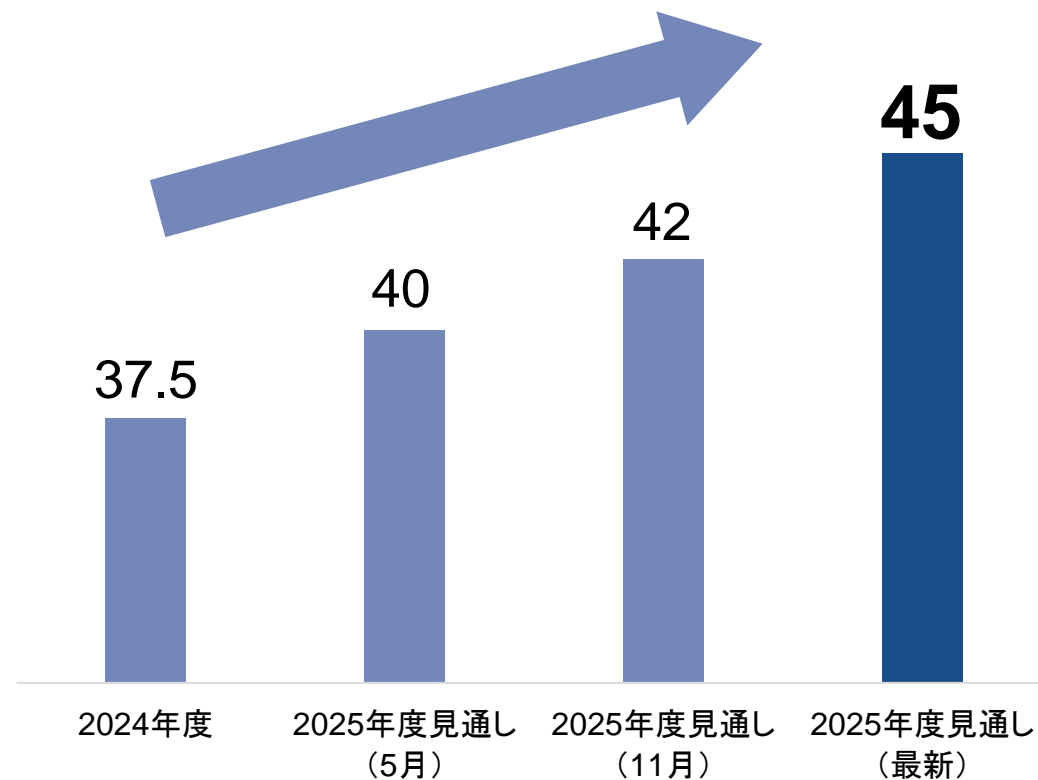
安定的かつ継続的な配当を目指す

⇒第4次中期経営計画(24~27年度)期間中の
配当性向は最終利益の30%以上が目途

	2024年度	2025年度 見通し (2025年11月公表)	2025年度 見通し (最新)
最終利益	280億円	230億円	270億円
年間配当	37.5円/株	42円/株	45円/株
配当性向	25.6%	33.1%	30.2%
自己株式 取得	(2025年2月) 300万株/151億円	-	-

1株当たり配当金額

(単位:円)



※ 前会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定
(ただし、自己株式取得に関する表示は、株式分割前のものを表示)

3. 企業価値の向上



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

エクイティ・スプレッドの創出に向け、資本コストの低減とROE向上に注力

株式価値最大化に向けて（第4次中計にて公表）

ROEの改善（目標9%以上）

- 事業利益目標：600億円
- ROIC目標：9%以上
- 価値創造プロセス
- 事業戦略
- 成長シナリオ

エクイティ・スプレッド

1%以上に拡大

PBR* 1.35倍
株式価値最大化

資本コスト低減（目標7%台） 期待成長率の引き上げ

- 最適資本構成の実現
⇒ 格付A格の確保
- 配当性向30%以上
- サステナブルな事業戦略の策定
- 非財務分野での価値創出
- 情報開示、エンゲージメント強化

株価・PBRの推移



航空宇宙・防衛材分野等、成長分野での活動強化

合計230億円の設備投資により、拡大する市場を捕捉

国内最大 リング材製造設備を導入

(2026年2月10日リリース*1)



© 宇宙航空研究開発機構(JAXA)



現在製造しているリング材

5m以上
へ拡大

投資総額：約120億円

稼働開始：2029年中

設置場所：鋳鍛製作所(栃木県小山市)

需要分野：H3ロケットなど宇宙関連材

- ✓ JAXAの技術開発テーマに採択され、[宇宙戦略基金*3の補助](#)を受けて実施
- ✓ 製造可能なリング材の直径は、[5m以上へ拡大\(国内最大\)](#)

厚板焼入れ材製造設備を増強

(2025年5月13日リリース*2)



深谷製造所全景

投資総額：約110億円

稼働開始：2027年度下期

設置場所：深谷製造所(埼玉県深谷市)

需要分野：航空宇宙・防衛関連材、半導体製造装置など

- ✓ [日本最大規模・高効率](#)な設備で、より高品質な製品分野へ
- ✓ 厚板焼入れ材生産能力を倍増へ

*1 ご参照-1) [航空宇宙・防衛向け生産能力を増強、国内最大級リング材製造設備を導入\(2026年2月10日\)](#)

*2 ご参照-2) [日本最大規模の厚板焼入れ材製造設備を導入\(2025年5月13日\)](#)

*3 宇宙戦略基金 URL: <https://fund.jaxa.jp/>

CDP2025スコア「気候変動」、「水セキュリティ」で2年連続「A-」を取得




CDP^{*1}による調査「CDP2025」において、
「気候変動」「水セキュリティ」の両部門で
“リーダーシップレベル”「A-」を2年連続取得

UACJグループは、「気候変動への対応」などの課題に向き合い、UACJリサイクル率^{*2}の向上、Scope1～3における GHG の排出量削減や水の取水量削減についての定量目標を掲げて活動を展開し、開示情報の充実に努めた結果、気候変動と水セキュリティの部門で、2年連続「A-」評価を獲得しました。

CDP2024の「A-」評価に続き、当社の取り組みが評価されたものと認識しています。

評価内訳

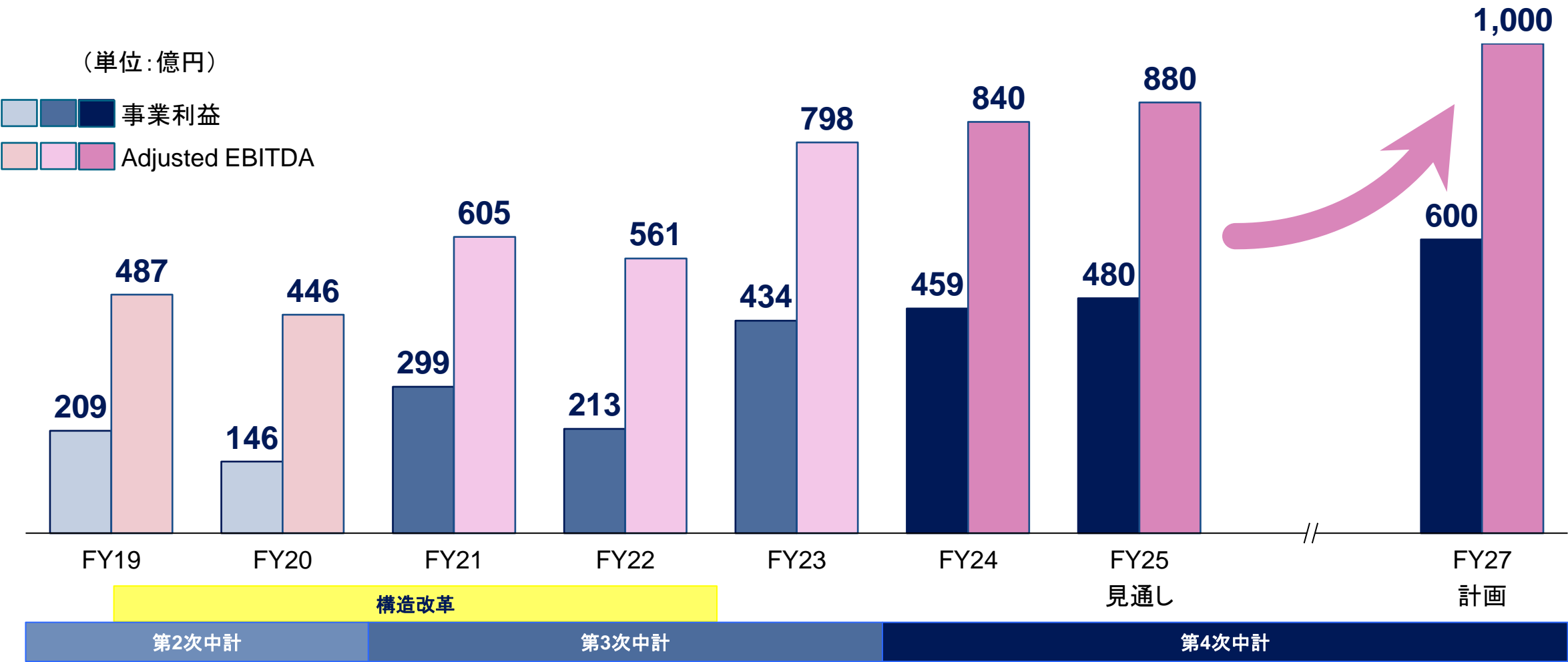
リーダーシップレベル	A
	A- 
マネジメントレベル	B
	B-
認識レベル	C
	C-
情報開示レベル	D
	D-

ご参照) [CDP2025「気候変動」「水セキュリティ」の両部門で2年連続リーダーシップレベル評価「A-」取得 \(2026年1月28日\)](#)

^{*1} CDP ロンドンに本部を置き、全世界18,000社以上の企業を対象に環境への取り組みに関する評価・開示を行う国際的な非政府組織。

^{*2} UACJリサイクル率 UACJグループ独自に設定した、溶解炉への装入量に対する循環アルミ量の割合。2030年度目標を80%に据える。

第4次中期経営計画達成に向けて、順調に進捗。さらなる向上へ



今後のIRイベント

2025年度本決算

2026年5月14日(木)14:00 開示予定

IR-Day

2026年5月29日(金)午前 予定



4. ご参考



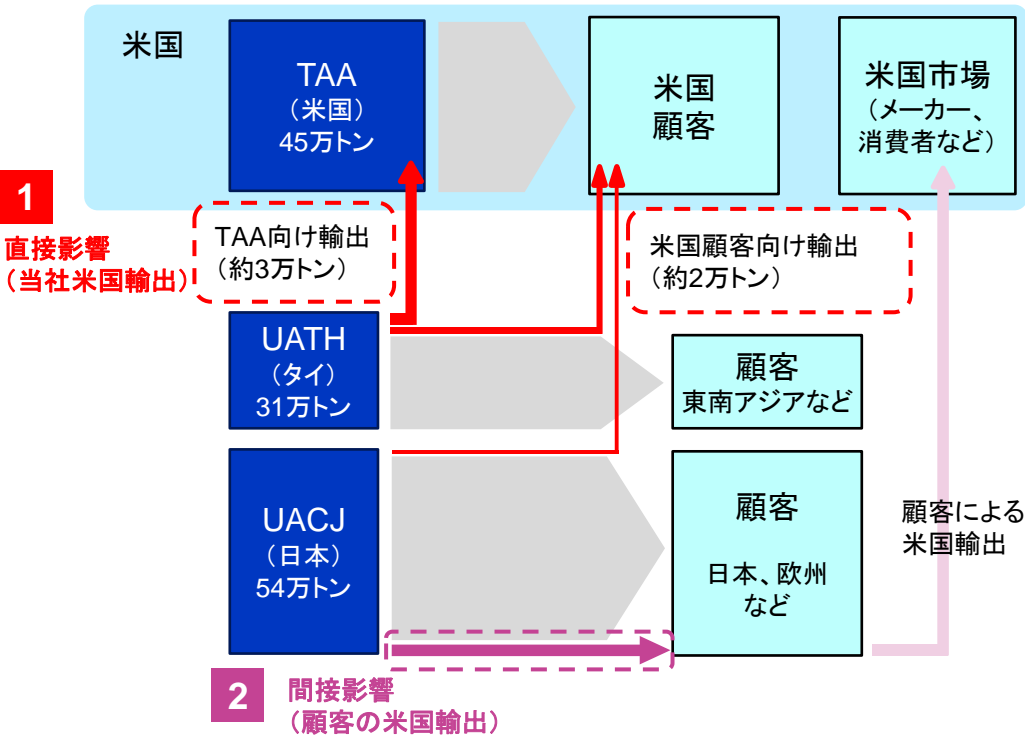
Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

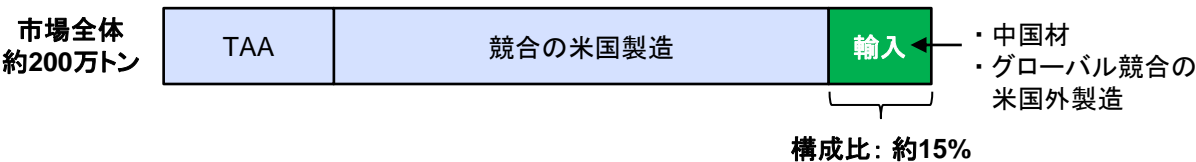
アルミニウム製品を取り巻く米国追加関税とその影響

現段階では、グループ全体で大きな影響はないものと想定しているが、引き続き関税の動向を注視する

■ 板事業の販売構成 ※数値は2024年度販売数量



■ 米国缶材市場の構成（2024年） ※UACJ推定



■ UACJグループへの影響

分野	UACJグループへの主な影響
1 直接影響	
缶材	● 25年は契約済みの販売量に大きな変動はない見込み ● 26年以降は、追加関税・適用除外制度の廃止を受け、 タイからの販売が減少する可能性
自動車関連材	● 米国内競合の工場閉鎖を受け、日本・タイから輸出する自動車関連材の販売が増加する可能性
2 間接影響	
自動車関連材	● 日本、またメキシコ等から米国への輸出台数の減少により、自動車関連材の販売が減少する可能性
日本の顧客が米国へ輸出するアルミニウム部品	米国内に代替供給先がない製品が多いため、販売が短期間で減少する恐れは低い

■ 米国拠点（TAA、UWH）への影響

缶材	● 米国製缶メーカーの地産地消傾向がさらに強まる可能性
自動車関連材	● 米国OEMの米国製部品への切り替えにより、UWHへの部品引き合いが増加する可能性
原材料	● 新地金価格（MWP*）は上昇 ● スクラップ価格は今後の動向を注視

緑色：ポジティブ影響
黄色：ネガティブ影響

*MWP ミッド・ウエスト・プレミアム

2025年度以降の事業環境のポイント(2026年2月更新)

青字: ポジティブ影響
赤字: ネガティブ影響

	日 本		北 米		東南アジア・その他地域	
需要動向	飲料缶市場	堅調	飲料缶市場	需要予測に変化はなく、 年率3%での成長 を見込む	飲料缶市場	東南アジア域は拡大傾向 欧州向けは順調
	半導体製造装置	厚板の需要回復に兆し	自動車市場	BEV市場が急落 、今後の動向を注視		
	建築材等	弱含み				
サプライチェーンの影響	缶材	需要家のシステム障害による影響は解消	缶材	北米圧延メーカーの生産障害による影響は限定的	缶材	北米圧延メーカーの生産障害により、 追加受注に対応
	自動車材	北米圧延メーカーの生産障害により、 米国向け出荷へ追加対応	自動車部品	半導体の供給不安により完成車生産に不透明感あり		
	自動車関連材	半導体の供給不足の影響あるも、解消に向け対応				
販売・利益	<ul style="list-style-type: none">価格改定効果の発現輸出量増加により品種構成が変化原材料価格高騰の影響を受ける		缶材	長期的な顧客との信頼関係をベースに、 持続的な販売契約 を獲得	<ul style="list-style-type: none">中国メーカーの販売攻勢は強力であるも一服契約更改時の価格改定交渉を継続原材料価格の高騰や為替変動の影響を受ける	
			缶材	リサイクル原料のコストメリットが発現		
			自動車部品	IRAに基づく EV購入の税額控除が終了 。市場は低調に推移		

設備投資・減価償却費

2025年度は中計期間中で計画する設備投資を前倒して実施予定

		2024年度 実績	2025年度 見通し	2024～27年度 計画
(単位:億円)				
設備投資	一般投資	188	223	820
	戦略投資	231	322	780
	合計	419	545	1,600
減価償却費		381	400	1,600

4. ご参考

主要指標推移

	日 本 会 計 基 準			I F R S							(単位:億円)
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 1Q(単)	2025年度 2Q(単)	2025年度 3Q(単)	2025年度 3Q累計	2025年度 (見通し)	
連結売上高	5,698	7,829	9,629	8,928	9,988	2,620	2,781	3,015	8,416	11,400	
連結営業利益	111	595	172	314	574	85	141	285	511	660	
事業利益	-	-	-	434	459	79	90	171	340	480	
棚卸資産影響前 連結経常利益	62	213	161	-	-	-	-	-	-	-	
連結経常利益	60	523	87	-	-	-	-	-	-	-	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△33	321	47	139	280	13	61	175	249	270	
設備投資 一般投資	109	129	210	217	188	23	54	51	128	223	
戦略投資	72	79	54	114	231	89	105	51	245	322	
合計	181	207	264	331	419	112	159	102	373	545	
減価償却費	334	340	373	364	381	95	98	104	297	400	
有利子負債残高	3,358	3,394	3,367	3,109	3,407	3,788	3,658	3,821	3,821	-	
ROE (%)	△1.8	15.6	1.9	5.3	9.9	-	-	-	-	8.7	
ROIC (%)	2.2	11.1	3	7.5	7.6	-	-	-	-	7.3	
D/Eレシオ(倍)	1.56	1.36	1.25	1.0	1.0	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	
営業キャッシュ・フロー	386	78	526	949	91	△ 82	363	△ 4	277	-	
投資キャッシュ・フロー	△ 210	△ 210	△ 269	△ 362	△ 369	△ 172	△ 185	△ 88	△ 445	-	
フリーキャッシュ・フロー	177	△ 132	257	587	△ 278	△ 254	178	△ 92	△ 168	-	
株主資本(日本基準)	1,775	2,090	2,096	2,105	2,139	2,096	2,150	2,275	-	-	

海外主要子会社 業績推移

(単位:億円)

	2024年度						
UATH	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
販売量(千トン)	72	77	149	78	79	157	306
売上収益	453	494	947	521	546	1,067	2,014
営業利益	52	7	59	△ 5	0	△ 5	54
(棚卸資産影響等)	33	△ 4	29	△ 11	2	△ 9	20
事業利益	19	11	30	6	△ 2	4	34

TAA	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
販売量(千トン)	109	118	227	106	116	222	449
売上収益	713	721	1,434	685	798	1,483	2,917
営業利益	107	75	181	73	74	147	328
(棚卸資産影響等)	24	△ 2	22	21	36	57	79
事業利益	83	77	160	52	37	89	249

UWH	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上収益	101	93	195	84	96	180	375
営業利益	4	2	6	△ 2	5	3	9
(棚卸資産影響等)	△ 1	0	△ 2	0	△ 3	△ 3	△ 5
事業利益	5	3	8	△ 2	8	6	14

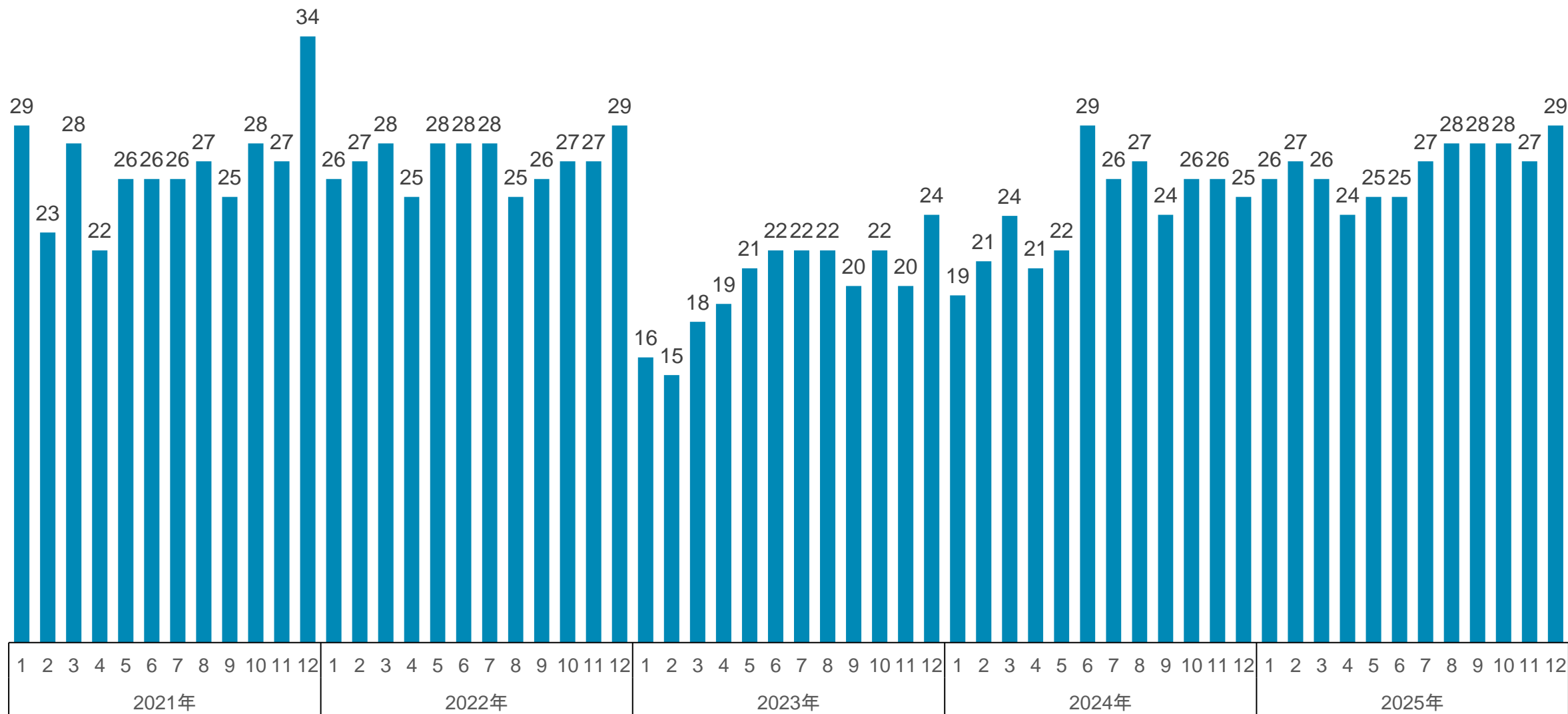
2025年度					
1Q	2Q	上期	3Q	3Q 累計	通期 (見通し)
74	83	157	84	241	325
467	525	992	568	1,560	2,237
△ 15	△ 5	△ 19	42	23	37
△ 15	△ 10	△ 25	39	14	25
0	5	5	4	9	12

	1Q	2Q	上期	3Q	3Q 累計	通期 (見通し)
	128	122	250	116	366	490
	845	952	1,797	1,032	2,829	4,011
	66	126	192	182	374	556
	16	73	89	83	172	261
	50	53	103	100	203	295

	1Q	2Q	上期	3Q	3Q 累計	通期 (見通し)
	94	100	194	96	290	391
	△ 0	6	6	1	7	5
	△ 1	△ 1	△ 2	0	△ 2	△ 4
	1	7	8	1	9	9

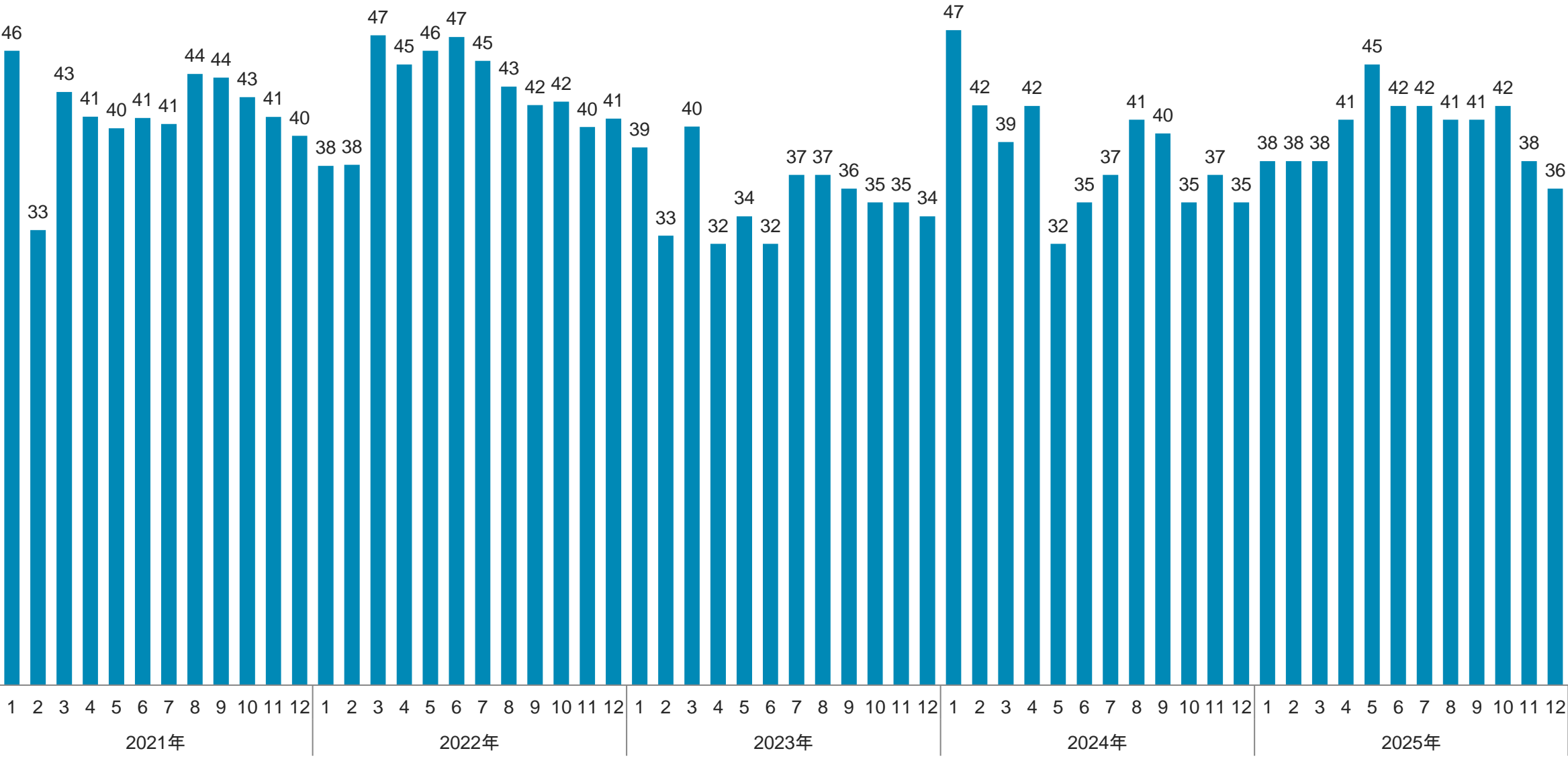
UATH 月次販売数量推移

(単位：千t)



TAA 月次販売量推移

(単位：千t)



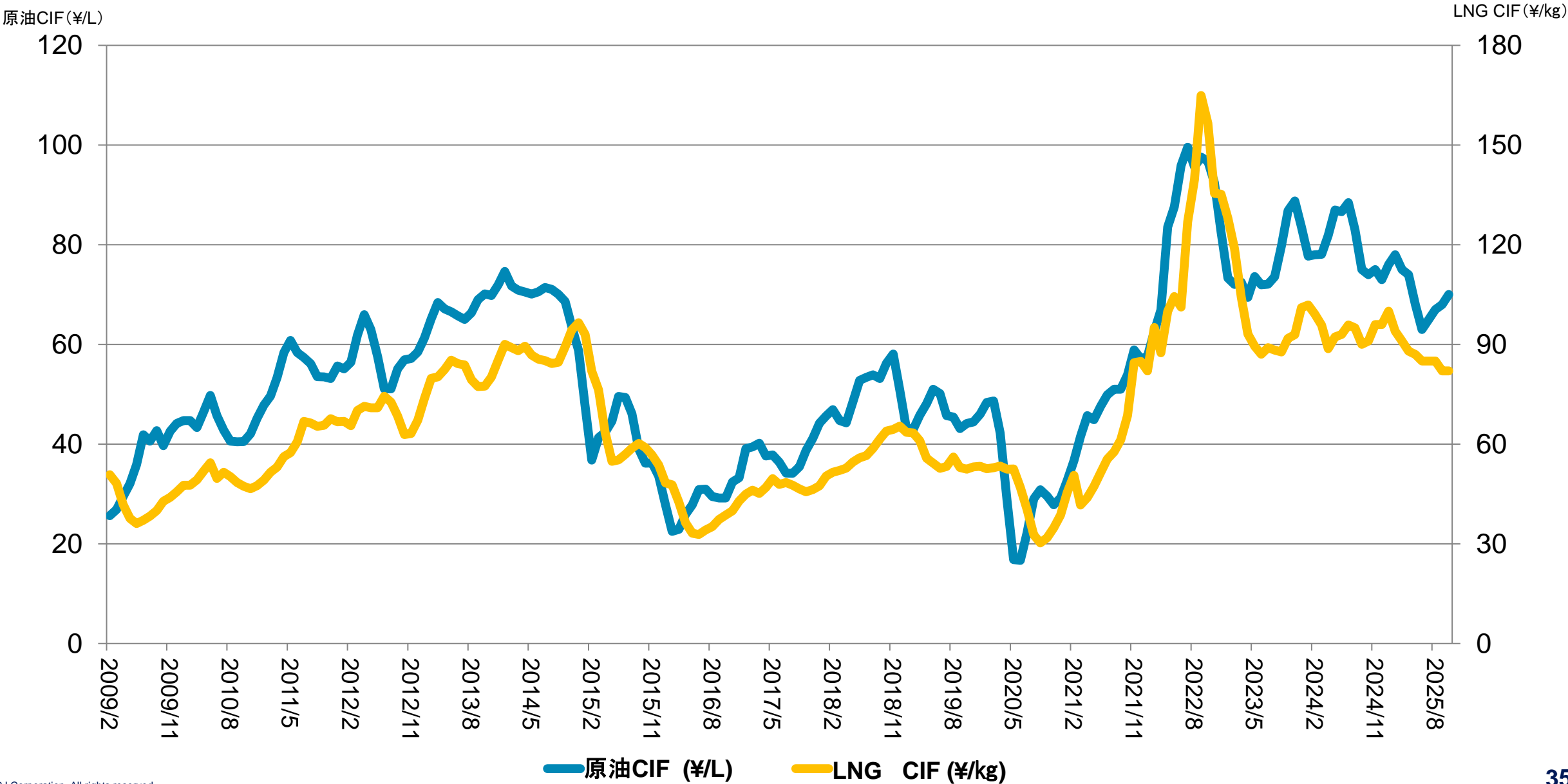
4. ご参考

諸元と感応度

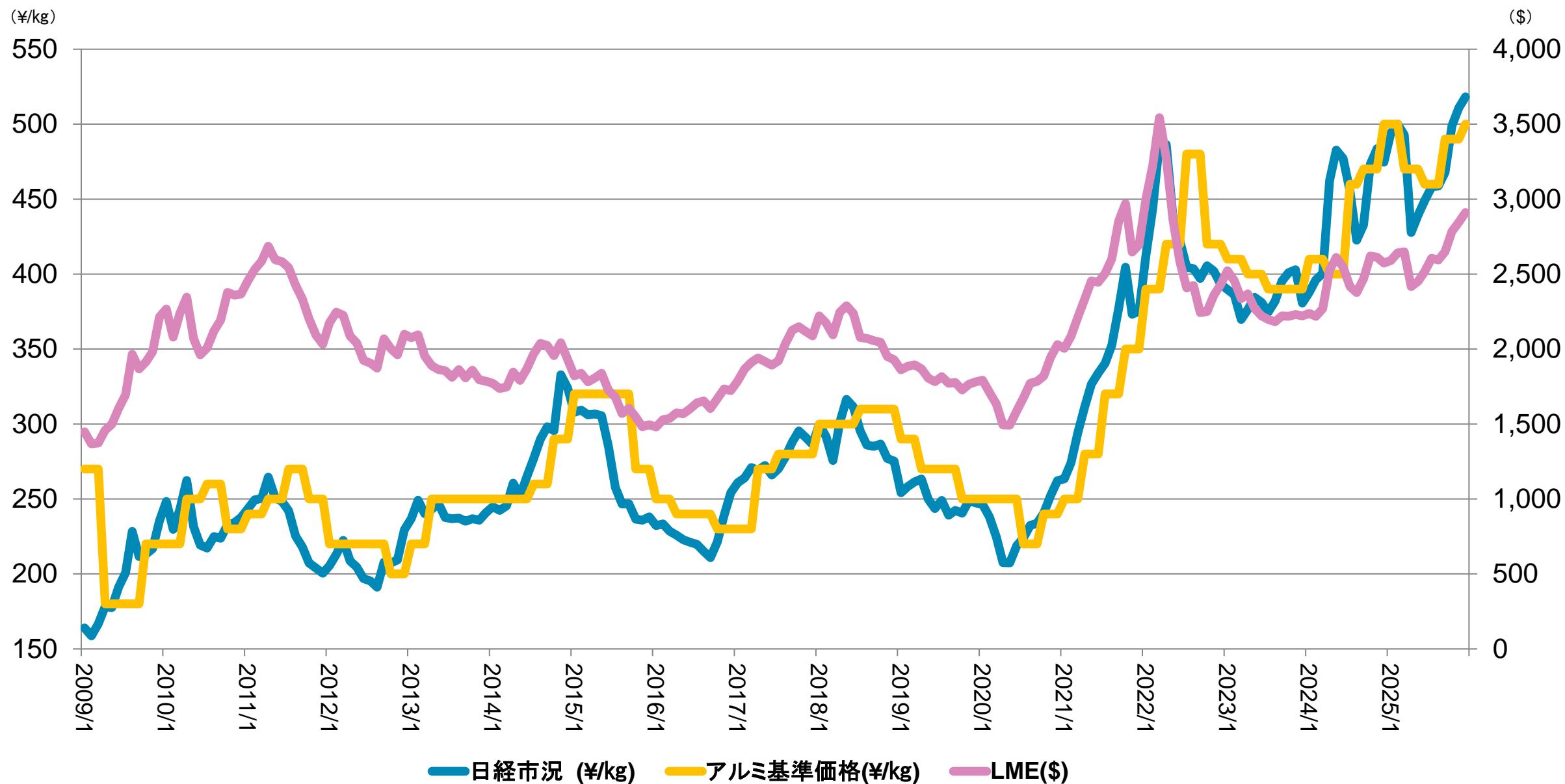
	2023年度 期中平均	2024年度 期中平均	2025年度 3Q平均	営業利益への 感応度
LME (米\$)	2,202	2,526	2,631	\$100/t上昇した場合 →+22~35億円/年
為替 (円/米\$)	145	153	149	・燃料単価、添加金属:円高が有利 ・ロールマージン、為替換算差:円安が有利
為替 (円/タイバーツ)	4.1	4.4	4.6	
為替 (タイバーツ/米\$)	35.2	34.9	32.5	・燃料単価、添加金属:THB高が有利 ・ロールマージン:THB安が有利
原油 (ドバイ:米\$)	82	78	67	10ドル上昇した場合 →△10~15億円/年

4. 参考

燃料単価推移



アルミ地金日経平均・アルミ基準地金



お客様に選ばれ続けるUACJであるために — ASI認証の取得

ASI(Aluminium Stewardship Initiative)

アルミニウムのサプライチェーン全体におけるサステナビリティの取り組みの向上や、ESG観点からの社会貢献を最大化することを目的とする国際イニシアチブ。

国際アルミニウム協会をはじめ、アルミニウムの生産者、加工メーカー、エンドユーザーなど様々な立場でアルミニウムに関わる企業が参画し、2012年に発足。

2018年度には監査・第三者認証の運用も開始。現在世界360以上の企業・組織が加盟

福井製造所および UATHラヨン製造所で、
ASIが発行する2つの認証を取得

UACJにとってのASI加盟の意義



ASIでの保証を裏付けに
製品を出荷

サステナブルな製品で
最終消費者の期待を実現



環境・社会・ガバナンス面で
高い基準を満たす製品を要求

”サステナブル”な
商品へのリクエスト

業界のリーディングカンパニーとして
認証取得と更新を行う。
グローバルなルール作りの場に参画していく

海外の飲料缶大手を中心にASI取得が
取引条件に設定される事例が増えている。
今後、欧州圏から他地域への拡大、他分野
への拡大が予想される。

棚卸資産影響

アルミ圧延事業における棚卸資産影響

① 平均法による材料費計算

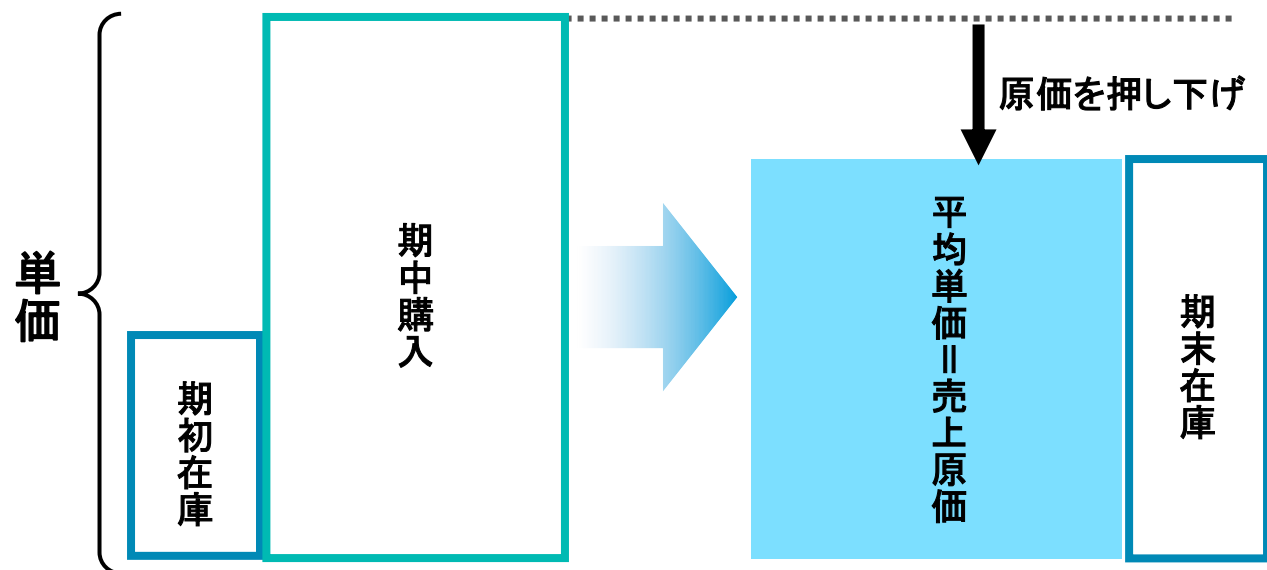
期首在庫と期中購入アルミ地金の加重平均で、材料費を計算（期首在庫が影響）

② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差

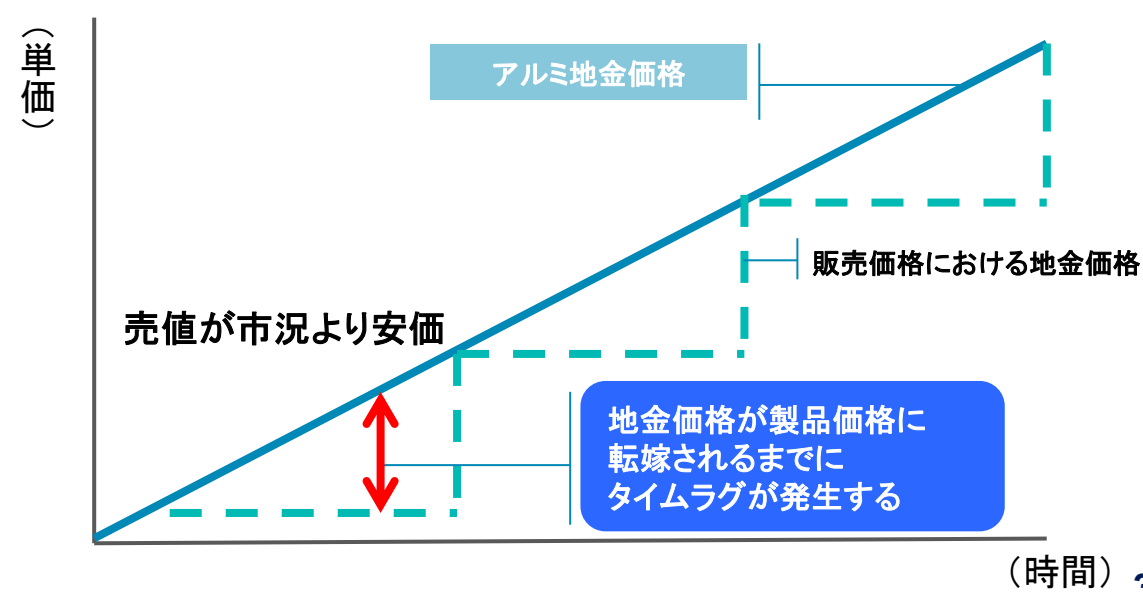
①+ ②= 棚卸資産影響

【アルミ地金価格上昇】

① 平均法による材料費計算



② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差



UACJグループが目指す軽やかな世界

UACJグループ理念



企業理念(パーパス)

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。

目指す姿(ビジョン)

アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。

価値観(バリュー)

行動指針「UACJウェイ」

相互の理解と尊重

- 地域社会との交流を大切にし、貢献する。
- 人の多様性を認め、価値観を尊重する。
- オープンなコミュニケーションを実践し、チームと個人の成長を大切にする。
- 「イキイキとした職場づくり」を推進する。

誠実さと未来志向

- 5ゲン主義に基づき行動する。
- 現実に真摯に向き合い、物事の本質を捉えた「誠実なモノづくり」を通じて、ステークホルダー目線の期待に応える。
- 「未来志向」で時代を先取りし、地球環境を守る活動に積極的に取り組む。

好奇心と挑戦心

- 環境の変化に対して常に「好奇心」と「挑戦心」を持ち、社会が必要とする製品とサービスを提供する。
- 社会の将来に向けたオープンイノベーションに対して、創造力を持って取り組む。

行動指針「UACJウェイ」



企業理念とサステナビリティ基本方針

美しく豊かな地球がずっと続く未来へ

緑豊かな青い地球

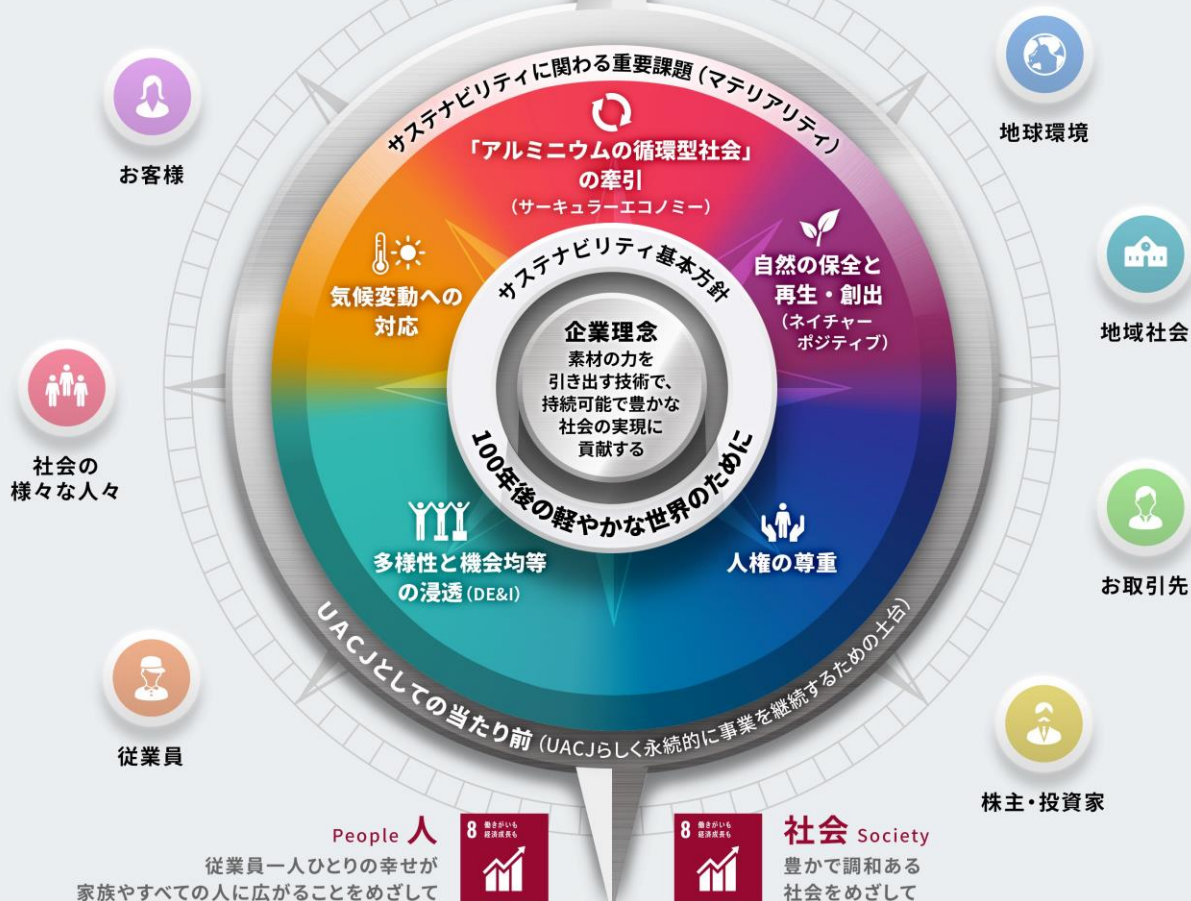
Business 事業

事業を通じて
軽やかな未来を創造するために



環境 Environment

緑豊かな青い地球を
未来に継承するために



誰もが幸せを感じられる 健やかで調和のとれた社会へ

Well-being

100年後の軽やかな世界のために

私たちの毎日の暮らしを支える素材、アルミニウム。
自由にカタチを変え、無限の可能性を持つ素材。
同じものとして、何度でも生まれ変わることができる
この特徴は、アルミニウムならではの。
言わば「サステナブル(持続可能)な素材」です。

そんなアルミニウムの持つ力を
技と術で引き出してきたUACJだからできること。

それは、美しく豊かな地球がずっと続く未来が実現できるよう、
これまで受け継いできた叡智と情熱を胸に
地球環境が抱えるさまざまな課題と向き合い
環境に配慮した事業を営んでいくこと。

さらに、誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会が実現するよう、
あらゆる人々の多様性を尊重し地域社会との共生・共創を通して、
ステークホルダーの皆さまとともに社員一人ひとりが、考え、行動すること。

アルミとあしたへ。

未来の子どもたちに、美しい地球を。サステナブルな社会を。
それがUACJの考える「軽やかな世界」です。

UACJピープルステートメントと人的資本経営の全体像

人を育み、人を繋いで、 軽やかな未来を創る

UACJグループの人的資本についての考え方

UACJグループの未来を創る源泉。

それは、UACJグループ理念に共鳴して働く
わたしたち一人ひとりにほかなりません。

UACJグループの持続的な成長と、
軽やかな世界の実現のために、
まず、働くわたしたちの「Well」を高めること。
その「Well」を、繋ぎ、広げること。
誰もがイキイキと輝き、
成長を共に喜びあえる最高のチームとなること。

そんな、UACJグループの「人づくり」「組織づくり」と
それを支える「働く環境づくり」を
進めていきます。

共に育みあい、繋がりながら、
軽やかな未来を、みんなで一体となって
実現していきましょう。

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する

働く一人ひとりの
Well-being 向上

人を育み、人を繋いで、軽やかな未来を創る

人材力・組織力の向上



わたしたちの働くWell

多様な仲間と出会い、繋がり、成長を喜びあい
チーム一丸となって目標を達成する感動



わたしの働くWell

個人としての成長・成果を認められる喜びと
仕事を通じて社会に貢献しているという誇り



わたしの心と体のWell

安全・安心で健康的な毎日を過ごせる
幸せと、仕事とプライベートの調和による
毎日の充実感



組織づくり

多様な一人ひとりの活躍の掛け合わせによる
グループの持続的な成長を支える組織づくり



人づくり

持続的な成長を支える多様な人材の獲得・育成と
一人ひとりの活躍をひきだす人材マネジメント



働く環境づくり

安全・安心で健康的な働きやすい
職場環境づくり



UACJグループの成長を支える、働く一人ひとりのWellと人材・組織づくりの好循環

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上収益及び利益等の計画や見通しのうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上収益及び利益等と、この資料に記載されております計画や見通しとは、今後さまざまな要因により大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料並びにIR関係のお問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

財務本部 IR部

uacj_ir@ml.uacj.co.jp

<http://www.uacj.co.jp>

(東証プライム 証券コード : 5741)



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

